

「一輪の花として」

生徒部だより③ 2025.7.15



正門前記念碑「伸びよ遅しく力強く」

誤解・摩擦・正義感・不満・許容

嫉妬・恥じらい・励まし・同調・距離感

～複雑な関係性の中で生きる生徒たち～



※写真は本文とは無関係

夏休みを迎え生徒たちの取り巻く環境は学校外へと移ります。以前と比べると SNS が当たり前にあるその世界は、私たちの予想をはるかに超えてきています。ある機関紙の 1 ページにこんな記事がありました。「前を歩く男子生徒がその女子生徒の後ろを歩いていた男子生徒に大声で話したり笑ったりしていた。そのことがきっかけで女子生徒は大きな不安や誤解、摩擦などが生じたのか、大きなストレスを抱えるようになった」というような記事です。思春期には悪い行為とはすぐには限定できない場面が、実は誰かの心に大きなショックを与えることがあります。そして日々の何気ない場面で頻繁に起こっているということがこの記事から想像できます。現代を生きる生徒にとって、さらに SNS の普及は誤解や不安を増長させる種となる可能性が高いことはすでに周知の事実です。さていよいよ長い夏休みです。SNS や周りの甘い誘いや心無い文句などに対し、簡単に誘いに乗ったり同調したりしないよう、自分の中の答えに自信をもって過ごすことが大切ではないかと思っています。またこの日々が少しでも生徒の心の癒しとなり、集団の中の変わりゆく関係性の中で「遅しく生きる勇気」の肥やしとなるよう願っています。

(文責 安達)

〇色決め集会をしました

生徒会が、学園祭の色をリレーや借り物競争で楽しみながら決めてもらいたいと計画実施しました。全校生徒が見守る中、各学年の代表が競い合いました。



《ダンス部の活躍》

中四国高 P 連島根県大会でダンス部が松江地区を代表し活躍した様子です。



Diary: July

〇体育委員会・生徒会主催★球技大会★種目;バレーボール,バドミントン

どの学年も本気で楽しんで競い合う、良い球技大会となりました。特に最後の球技大会となった 3 年生は、白熱した試合の後に互いに握手を交わしたり、最後までバレーボールに親しんだりする姿があり、感動的かつ気持ちのいい姿でした。優勝した 3 年 3 組は松江地区高体連バレーボール大会に出場しました。

開会式を進行する体育委員

